

地域懇談会実施報告書

自治会名 旭町・光明町

開催日 10月13日(土)

時間 19:00 ~ 20:30

開催場所 旭町公民館

参加人数 20人

懇談内容 別添 議事録

質問等後日回答を要するもの

対応



行政側参加者氏名

庶務課長 酒井 富雄

庶務課秘書担当 田中 久登

庶務課行政管理担当 飯島 秀美

記録者氏名 飯島 秀美

旭町・光明町自治会地域懇談会

10月13日(土)19:00～

1. 開会 中村旭町副自治会長

2. 自治会長あいさつ 北澤旭町自治会長

【進行 中村副自治会長】

3. 市長あいさつ

(1) 地域懇談会の趣旨について

昨年までは「市政懇談会」として、市内6地区において議会のような形式で開催していただいていた。今年度より、直接市民の皆さんの意見を率直に聞き、また、市の事業の進捗状況等をお知らせする場として地域懇談会を開催している。連合自治会の事業として6月17日からスタートし、今日が17回目の開催となる。合同開催もあるので、地区数にして30地区ほどの自治会で開催され、市内99自治会のうち1/3程度実施してきている。

何故このようなきめ細かい意見交換会が必要かという、今までは行政は問題解決の方法を蓄積して持っていたが、それでは解決できない新しい課題に直面してきている。少子・高齢化が進み人口が減少していくなかで、歴史上経験したことのない、大きな時代の曲がり角を経験している。行政だけでは市民の希望・要望が解決できない。また地方分権・三位一体の改革により財政面で厳しい局面を迎えている。税収の伸び悩みにより貴重な財源を有効に使っていかねばならない。今までならお金で解決できたことを、これからは、知恵を絞り相談のうえ解決し、行政に任せきりでなく、市民のみなさんと相談して事業の優先順位をつけ、厳選して実施に移していかねばならない。皆様のご意見・ご要望、建設的なご意見を伺いたい。また市ではどのように事業に取り組んでいるか、これから取り組んでいくかをお話したい。

(2) 第4次総合計画について

総合計画審議会で検討し策定。公約をベースとして審議会で審議、肉付けを行い、平成19年4月からの10年間の計画として策定したもの。

ダイジェスト版により説明

5P ・基本理念「市民参加と協働の市政による地域の再生」

・将来像「美しく豊かな自然文化の風薫るきらり輝くおおまち」

「美しく豊かな自然」= 緑豊かな大町市の美しさを表現。

「文化の風薫る」= 歴史ある文化と、今を生きる文化活動を大切に。

「きらり輝くおおまち」= 市民の皆さんひとりひとりに笑顔が輝くまちづくりを目指す。

・経営像「協働の力で活力ある地域社会をめざして」

8P めざすまちのテーマ「6本の柱」

(省略)

4. 懇談 【19:20 開始】

質問者

(1) 全国的な医師不足の中で、大町病院の内科医師2名退職による、入院病床数の縮小。80年の歴史があり、市民の生命の安全性のよりどころである、大町病院の充実への対応についてお聞きしたい。

(2) 大町市の雇用の確保としての工場誘致に向け、地域高規格道路「松糸道路」の開通に期待が寄せられる。また東洋紡の跡地利用についてもお聞きしたい。

(3) 旭町自治会では JR 信濃大町駅東口の開設について、予てから陳情している。駅舎の耐用年数により改築は無理かもしれないが、将来計画の中で東口の開設を要望したい。

(4) 実質公債費比率・財政の健全化についてお聞きしたい。

市長

(1) 大町病院には現在20人の常勤医師が診療を担っており、内科の医師は5人勤務している。そのうち2人が今年度末までに退職する意向を示している。慰留につとめているが引き止めることは難しい状況であり、平行して後任を探している。内科の医師は3人になってしまう。今までは信大医学部より人事のローテーションとして医師が配置されてきた。しかし全国的な医師不足から、すぐ後任を送りだすには難しい環境になっている。信大では毎年80名の医師が誕生し、関連病院で研修を兼ねて配置されていた。医師研修制度が変わりどこの病院でも研修が可能になったため、約半分の医師が大都市の病院で研修するようになってしまったという。

今、信大のほか、地域出身の医師を探し直接お願いしているが、年度中途でありすぐに後任は見つからない。来年4月までには何とか後任を探したい。1月から3月までは3人の医師で内科を運営しなければならないため、入院は病床数を65床から30床に減らし、外来は入院以外の場合は市内の開業医へお願いするなど、大北医師会・安曇病院へ出来るだけ引き受けてもらうようお願いしている。一日でも早く後任を見つけ、体制を元に戻し、ご迷惑をお掛けしないように努力していくがご理解をいただきたい。

(2) 松糸道路については、前の田中県政は公共事業を進めない方針で、地域高規格道路もほとんど手をつけてこなかった。村井県政では必要な公共事業は取組んでいくと方向転換している。県下19市の中で直接、高速道路にアクセスできないのは大町市のみである。それを補完するためにも松本・豊科付近から糸魚川までの100キロを、高速道路的な高速性と安全性も備えた高規格道路の計画をすすめていきたい。

長野県側 80 キロ新潟県側 20 キロの規模で、新潟県側はすでに調査がほぼ終わり、来年からは整備区間への格上げが見込まれ、補助金が確定すれば着工するところまで進んでいる状態である。大町～堀金区間は調査区間になっているが、まったく調査が進められていない。小谷村雨中地区では夜間の騒音対策のため、調査区間としてトンネルでバイパスする方向で検討されているが、地形的・地質的に相当大規模になるものと見込まれ、着工は難しく計画が止まっている状態である。県ではルート全体の調査を行っており、調査が終わり次第できるだけ早く調査区間に格上げしていただけるようお願いする。再来週、国土交通省に出向き、大臣に直接お願いに行く。道路は地域住民の利便のためでもあり、観光客の利便性にも繋がる。観光シーズン中の豊科 IC での大渋滞の解消にも繋がる。さらに産業の業績拡大や企業誘致にも大事な要素となる。

働き場所が少ないという問題については、いざ子ども・孫を大町市で就職させようというとき、思い浮かぶ企業が少ない状況である。地元企業との意見交換会でお話を伺うと、企業では技術力があり工場を増設し、求人しても人が集まらないという。ハローワークの有効求人倍率は0.8と、仕事を求めている人が多いという指標になっているが、実際は求人しても人が集まらないという状況だといわれている。大町市に就職口が無いから都会で就職してしまう。また、一旦就職し家庭を持つとなかなか帰ってこられない。広報 11 月号から市内でがんばっている企業の紹介を掲載する予定で、皆さんに知っていただく機会を設け、市内で働く機会を増やす努力をしていく。企業誘致については、東洋紡跡地が3/4残っており、東洋紡と協定を結び協力して優良企業を誘致していく。ある企業が工場用地を探しているという情報が県から入り、来週直接会って東洋紡跡地を PR する予定である。大町市の良さを PR し、一刻も早く優良企業に来ていただけるよう努めてまいりたい。

(3) 駅の東口について、JR 信濃大町駅の東側には住宅地が広がっている。昨年も陳情を受け JR へつなげている。JR 側も採算性を最優先に考え見極めている。東口を設けるためだけに改築する予定はないと非公式に回答があったが、老朽化も進んでいるので、改築の時期にあわせて東口を設けていただくよう、粘り強くお願いしてまいりたい。

(4) 財政状況については、国は去年から新しい指標、実質公債費比率を設けた。大町市の平成18年度の実質公債費比率は81市町村のうち16番目、19市のうちでは1番で21.3%である。次は伊那市で、20%を超えたのは3市である。原因の一つは過去10年に集中して積極的に事業を実施した結果で、借金返済のピークがここ2・3年の間に重なってしまったことにある。起債を起こすときには計画的に償還できるように計算しているが、地方交付税の減額により標準財政規模が縮小し、思いのほか比率が高くなった。大町病院への繰出金と下水道事業への繰出金も影響している。大町市は財政の体力はあり、他市にも見劣りしない。しかし公債費比率が高いなど財政の健康度は心配であり、健康度を回復するために公債費を適正化する計画をたて、

県や国に承認してもらっている。

地方公共団体の起債は建設事業のみ起こすことが出来る。仁科台中学校の改築やはなのき保育園の改築等の建設事業費は借りることが出来るが、起債の額を抑えていく努力をしていく。建設事業の着手の時期を見計らいながら、借金返済の時期が重ならないように工夫する。市民の皆さんのご要望に出来るだけ応えながら、かといって財政が逼迫しないような取組みをしてまいりたい。広報11月号に実質公債費比率についての解説を掲載する予定である。解かり難い話であるが、財政に関心を持っていただきご意見をいただきたい。

質問者

「大町病院だより」に大町病院では初診の場合は紹介状が必要になると書いてあったがどうか。

市長

病状によっては市内の開業医に診てもらい、開業医の判断により、入院が必要な場合紹介状を書いてもらい、大町病院へ来ていただきたい。そういう仕組みでご協力いただきたい。しかし救急の場合は直接受け付ける。内科の時間外の診察は現在内科受診中の方は来ていただいてよい。吐血下血等緊急の場合は遠慮なく受診していただきたい。風邪等はかかりつけ医で受診していただきたい。かかりつけ医を持つことが大事である。日頃からかかりつけ医を持つように心掛けていただきたい。

質問者

就職の実態については求人数があっても、生活が成り立つだけの給料が得られる企業は少ないため、市外の企業に就職してしまうケースが多い。企業の誘致に関しては優良企業、安心して働ける企業の誘致が大事ではないだろうか。

市長

付加価値の高い、生産性の高い産業に来ていただきたいと考えている。地元で従業員を雇用してくれる企業の誘致を働きかける。労働力を確保したうえで双方の希望がかなえられる企業の誘致を目指してまいりたい。

質問者

この地域だけではないが、圧倒的に高齢者が多く、若い人がいない。10年もたてば自治会運営が難しいような状況になる恐れがある。

市長

人口増対策と定住対策という二つの対策がある。日本全国で人口は減っている。

急激に減らないよう努力する。そのために働き口を確保し、交通の便を良くして大町市に住みながら、松本市周辺まで通勤できるような環境をつくり、大幅な人口の減少を食い止める作戦。定住対策は市内にバランスよく住んでもらう。一方では田舎暮らしに関心が高まっている。団塊の世代が定年を迎え、定年後は田舎でのんびり暮らすというブームが起こっている。田舎暮らしを希望する人に、情報提供ができるように空家データを整備している。美麻・八坂では調査が済みであり、大町地区でも現在調査を進めている。東京の「ふるさと回帰支援センター」という、田舎暮らしを希望する人に情報提供をする団体があり、大町市も紹介していただくよう依頼している。移り住んでいただいた方が地域社会に溶け込めるような環境づくりをしていかななくてはならない。地域全体で暖かい気持ちを持って迎え入れることが大切である。

市長

農具川は昔、ゴミも無くきれいな川であった。一時期ゴミが目立って汚れていたが、最近またきれいになってきていると思うが、皆さんのご意見を聞きたい。

質問者

旭町は川尻である。町川のゴミの引上げ箇所があるがゴミがとても多い。ゴミは上流から流れてくるため、各町にゴミの引き上げ箇所を設けたらどうか。

市長

旭町の現場を見たが主なゴミには 3 種類ある。発泡スチロール・ペットボトル・カセットコンロのガスボンベなどの缶の3つが多い。

質問者

自治会で川ざらいをするが、場所によっては臭いもある。以前、鳩バスに乗ったときにガイドさんに大町市の辺りは公衆トイレがないと言われた。そのため大町市を素通りしてしまう。公衆トイレは必要である。

市長

公衆トイレは、大町駅前に設置してあり、看板が小さくて判り難いといわれたが、看板を大きくすると美観を損ねる恐れもある。商工会館の一角に市が建物に組み込んで建設してある。また JR 築場駅前や七倉ダム脇にも公衆トイレを設置している。来年には JR 信濃常盤駅の前にも建設を予定しており、計画的に順次つくっていく予定である。運動公園にはトイレがいくつかあるが、下水区域でないため水洗トイレでなく臭いがある。訪れた方に気持ちよく使ってもらえるように努力していく。河川ゴミについては上流から下流へ流れていくもの。連合自治会の事業で6月・9月に河川のゴミ不法投棄月間を実施し、パトロールやゴミ回収を行っているが、行政でも出来るだけの対

応をしていく、遠慮なく申し出ていただきたい。

質問者

市内には観光バスが停まって使えるトイレはない。温泉郷にはあるが素通りされてしまう。道の駅のようにトイレを利用し買い物できるような施設があればと思う。

市長

道の駅は足を止め、トイレを利用し、特産物も買う、また食事も出来る。観光にも効果的な仕組みである。市内には美麻に「ぽかぽかランド美麻」がある。最近では結構車が停まっている。周辺には白馬村・小谷村・松川村にある。大町市内にも道の駅をつくってはというご意見をいただき研究してきた。道の駅は道路管理者が設置する。ところが営業施設は地域の民間資本で設置するのが原則である。今のところ民間の参入希望者がいない。場所も検討しいくつか候補地がある。

- ・ゆーぶる木崎湖を充実・拡大させる。
- ・大町市南部に建設してはどうか。
- ・訪れる方に一番印象的な場所(例えば大原町のオリンピック道路のクランクのところ、その辺りは山の眺望がすばらしい。)

など様々な意見があるが、具体的な事業の担い手が固まっていない段階で、まだまだ時間がかかると思うが、実現に向けて努力していきたい。

市長

大町病院あるいは大町市役所の職員の最近の対応はどうか。病院には「患者さんの声」というアンケートがある。具体的に薬の待ち時間が長い等、声を聞かせていただき、改善に向け努力していく。民間の場合クレームにより製品を改良していく。行政サービスを提供する市役所・病院も同じことである。皆さんのご意見を聞き、より良くする努力をしてみたい。

4. 閉会のあいさつ 山崎光明町自治会長

5. 市長よりお礼のあいさつ

これからも皆さんのご期待に添えるよう努力してみたい。地域の課題は自治会を通じて要望していただき、またご意見・ご提言は「市長の手紙」でもお寄せいただきたい。市民の皆さんが市政に関心を持ち、行政と一緒に携わっていただくことで、『協働』のまちづくり実現へのご協力をお願いしたい。

【20:30 終了】